

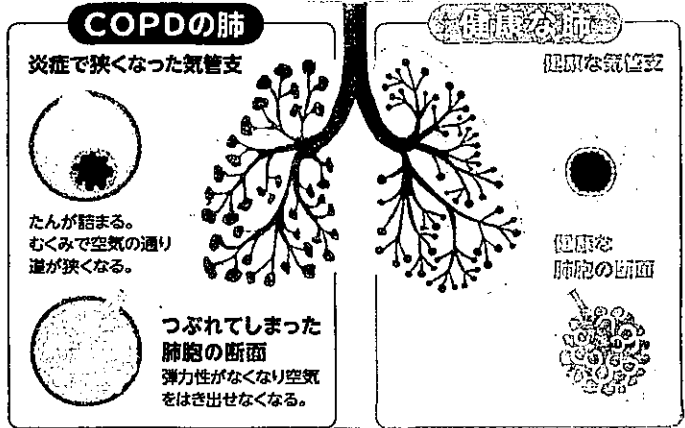
もしかして、COPD?

(慢性閉塞性肺疾患)

長引くせき・たん、階段での息切れ...

思い当たる人は **要チェック!**

1. どんな病気?



COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、これまで、「肺気腫」や「慢性気管支炎」と呼ばれていました。

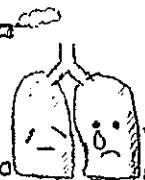
COPDになると、気道や肺胞で炎症が起き、肺の働きが低下します。肺機能が落ちることによって、正常な呼吸が困難になります。

▷壊れた肺は完全に元の状態に戻ることはありません!!



2. 原因は?

主な原因は**タバコ**の煙です。COPD患者さんの**9割**で、喫煙歴があると報告されています。



3. 症状は?

せき・たん
「肺の生活習慣病」といわれています。

長引くなら要注意!

症状が長引くようであれば、気管支や肺に肉ばね可能性があるため、早めに医師に相談を!

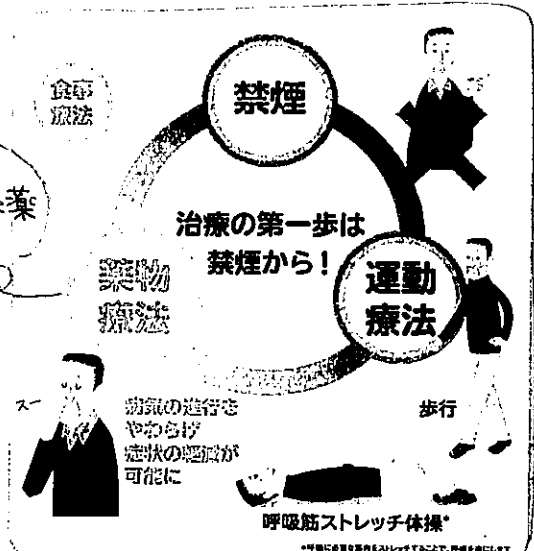
「せき・たん」や「息切れ」はよくある症状。かぜや身のせいと勘違いし、そのままにしておき、後悔することもあります。

4. 息切れの悪循環

COPDの患者さんは、息切れを避けるために無意識のうち活動性(運動量)を低下させています。しかし、活動性が低下すると体力や筋力が落ち、さらに息切れが悪化するという悪循環が起きます。風邪などをきっかけに症状が悪化し、増悪を繰り返してCOPDが重症になると酸素吸入が常必要になる場合があります。



- 気管支拡張薬
- ステロイド
- 去たん薬



5. 治療法について

まずは、禁煙が大切です。禁煙に取り組まなければ正しくお薬を使用することで、呼吸しやすくなり、日常生活の動作が楽になります。また、医師と相談の上、運動療法や食事療法も行いましょう。いずれの治療も、続けていくことがとても重要です。